

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【公開番号】特開2006-310802(P2006-310802A)

【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2006-77987(P2006-77987)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/268 (2006.01)

H 0 1 L 21/26 (2006.01)

H 0 1 L 21/20 (2006.01)

H 0 1 S 3/00 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/268 J

H 0 1 L 21/26 J

H 0 1 L 21/20

H 0 1 S 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月13日(2009.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照射面においてビームスポットのエネルギー分布を均一化する光学素子であって、
前記光学素子は多角形状の入射口及び射出口を備え、
前記入射口及び前記射出口は複数の反射体から形成され、
前記複数の反射体のそれぞれは、隣接する他の反射体に対して相対的に移動可能であり

、
前記反射体の移動前の前記入射口及び前記射出口の形状と、前記反射体の移動後の前記
入射口及び前記射出口の形状は相似である
 ことを特徴とする光学素子。

【請求項 2】

照射面においてビームスポットのエネルギー分布を均一化する光学素子であって、
前記光学素子は三角形形状の入射口及び射出口を備え、
前記入射口及び前記射出口は三つの反射体から形成され、
前記三つの反射体のそれぞれは、隣接する他の反射体に対して相対的に移動可能であり

、
前記反射体の移動前の前記入射口及び前記射出口の形状と、前記反射体の移動後の前記
入射口及び前記射出口の形状は相似である
 ことを特徴とする光学素子。

【請求項 3】

照射面においてビームスポットのエネルギー分布を均一化する光学素子であって、
前記光学素子は、五角形状の入射口及び射出口を備え、
前記入射口及び前記射出口は五つの反射体から形成され、
前記五つの反射体のそれぞれは、隣接する他の反射体に対して相対的に移動可能であり

、
前記反射体の移動前の前記入射口及び前記射出口の形状と、前記反射体の移動後の前記入射口及び前記射出口の形状は相似である
ことを特徴とする光学素子。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一において、
前記複数の反射体、前記三つの反射体、または前記五つの反射体のうち、一の反射体と
他の反射体と、が隣接する部分には鏡面加工が施されていることを特徴とする光学素子
。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか一に記載の光学素子と、光源と、を有することを特徴とする
光照射装置。